※令和３年度以前入学生用

学校番号	1017

令和５年度　情報科

教科	情報	科目	情報コンテンツ実習	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

情報の価値を高めるための、情報コンテンツ制作の方法を学ぶとともに、どのようなコンテンツが受け手に求められ、受け手に満足されるのかを考えましょう。HTML を用いたページ作成を軸に実習を行います。また、CSS を用いた Web デザインも学びます。

２　学習の到達目標

情報コンテンツの開発に関する知識と技術を実際の作業を通して習得させ、総合的に活用する能力と態度を育てる。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	コンテンツの開発・改善に関する諸課題について関心を持ち、その向上を目指して主体的に取り組もうとするとともに、実践的な態度を身に付けている。	コンテンツの開発・改善に関する諸課題の解決を目指して思考を深め、基礎的･基本的な知識と技術を基に、適切に判断し、表現する創造的な能力を身に付けている。	コンテンツの開発・改善に関する基礎的･基本的な技術を身に付け、情報の各分野に関する諸活動を合理的に計画し、その技術を適切に活用している。	コンテンツの開発・改善に関する基礎的･基本的な知識を身に付け、現代社会における情報及び情報産業の意義や役割を理解している。
評価方法	学習状況の観察 ワークシートの記述 実習作品 相互評価・自己評価 等	学習状況の観察 ワークシートの記述 実習作品 レポート 確認テスト 自己評価・相互評価 等	学習状況の観察 実習作品 課題作品 等	学習状況の観察 ワークシートの記述 確認テスト 等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和３年度以前入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
第1・2クール	情報コンテンツの開発の概要	○情報コンテンツ開発の基礎 ○開発工程と管理	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	a:コンテンツの開発に関心を持っているか b:効果的なコンテンツ開発に適切なメディアやコンテンツの形態を選択できるか。 c:コンテンツ開発に必要なアプリケーションを選択・利用できるか。 d:情報伝達に効果的なコンテンツの形態を理解しているか。	ワークシート 授業観察 実習作品 課題作品
第2・3クール	要求分析と企画	○要求分析 ○企画	○ ○	○ ○	○	○ ○	a:情報の受け手に受け入れられるコンテンツの企画・作成に関心があるか。 b:情報の受け手の要望を受けたコンテンツの開発ができるか。どのようなコンテンツが有効か理解できるか。 c:情報の受け手の多様な要望を適切に処理・分析できるか。 d:分析から企画までに適切に携わることができるか。	ワークシート 授業観察 実習作品 課題作品
第3・4クール	情報コンテンツの設計と制作	○情報コンテンツの設計 ○情報コンテンツの制作	○ ○	 ○	○ ○	○ ○	a:コンテンツの設計・製作に関心を持っているか。 b:どのようなコンテンツが情報伝達に有効か判断できるか。コンテンツの制作に適切なアプリケーションを選択できるか。 c:コンテンツ制作のアプリケーションを適切に操作できるか。企図したとおりにコンテンツが制作できるか。 d:コンテンツの制作に適切なメディアを用いることができるか。コンテンツの内容を適切なものとできるか。	ワークシート 授業観察 実習作品 課題作品

※令和３年度以前入学生用

第5クール	運用と評価	○情報コンテンツの運用と保守 ○情報コンテンツの評価と改善	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	a:情報コンテンツの組み合わせによる情報の展開に関心を持っているか。新しい情報に伴って情報コンテンツを適切に変更していくことに関心を持っているか。 b:情報ごとに、その内容が変わらないもの、刻々と変化していくものがあることを理解しているか。コンテンツの自己評価ができるか。外部からの評価に応えることができるか。 c:情報の変化をとらえるアンテナを持っているか。 d:情報コンテンツは作りっぱなし、送りっぱなしでは理解しているか。よりよい情報伝達のためには、コンテンツの更新が欠かせないことを理解しているか。	ワークシート 授業観察 実習作品 課題作品

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。